

第 3455 図

しょうべんのき

*Turpinia ternata Nakai*  
(= *T. pomifera* auct. jap. non DC.)

九州、四国の暖地及び琉球、台湾に産する常緑の小喬木で高さ3-4m、小枝は太く円く、有柄の3出小葉を対生する。葉柄は長さ3-5cm、小葉は革質、濃緑色、上面は光沢が強い。先端急に尖鋭し、低鈍鋸歯あり、中肋は下面に著しく隆起し、小葉柄は長さ1-2cm。初夏、円錐花序を枝頂に直立して生じ、緑白色、径5mm許の小花を密に開く。萼片、花弁共に5個、花弁は倒卵形、萼片より少し長い。雄蕊5個、雌蕊1個、花柱は直立し、先端わずかに3岐する。蒴果は楕円形、径10mm許、微凸頭がある。和名は小便の木の意。この木を伐れば水液が多量に出るのでこの名がある。



みづぼうし科

第 3456 図

おおつるうめもどき

一名したきつるうめもどき

*Celastrus stephantiifolius Makino*

我国中西部に産する落葉の蔓性灌木で高く他の樹木にまつわり登る。葉は互生し柄があり、広楕円形で先は急に尖り、縁には鈍鋸歯があり、長さ6-12cm、巾4-7cm、下面脈上には毛がある。春、枝の下部に少数の花からなる聚繖花序をつけ、淡緑色の小花を開く。萼片は5枚、卵形で小さい。花弁も5枚あり、長楕円形で長さ4mm許。雌雄株を異にし、雄花には5雄蕊、雌花には1雌蕊と退化した小さい5雄蕊がある。蒴果はほぼ球形で径1cm内外、熟すと3裂して赤色の仮種皮を被った種子を出す。ツルウメモドキに比べ、葉下面には少くも脈上にやや立った毛があり、葉は少し厚い。和名シタキツルウメモドキは葉がシタキソウに似ているので名付けられた。



こしあか科

第 3457 図

おおこまゆみ

*Euonymus alatus Sieb.*  
var. *rotundatus Hara*

(= *E. striatus* var. *rotundatus*  
*Makino*)

山地に生ずる落葉灌木で、枝はやや太くサワダツに似て緑色、翼はない。葉は短い柄があり対生し、通常広卵形で先は急に鋭く尖り、基はやや円いか又は広楔形をなし、縁に細かい鈍鋸歯があり、長さ3-7cm巾1.5-4.5cm、無毛である。5-6月、葉腋から1-5花よりなる聚繖花序をだす。花梗は細長く、花は径7mm内外。萼片は4枚で円く縁に小さい腺があり、花弁も4枚、卵円形で淡黄緑色である。花盤の縁に近く短い4雄蕊がつき、中央に1花柱が立つ。蒴果は分離した1-2室からなり、晩秋裂開して橙赤色の仮種皮を被った種子が垂れ下る。



こしあか科

ひぜんまゆみ

*Euonymus Chibai Makino*

九州・琉球の暖地に生ずる小喬木で、他のマユミ類と異り常緑である。樹は高さ5mに達し、枝は緑色で平滑。葉は柄があり対生し、長卵形で先は急にとがり鈍端、基は細まり、縁には上半に低い鈍歯があり、質はやや厚く平滑で長さ5-12cm巾2-6cm。春、葉腋から聚繖花序をだし、淡緑色の小花を開く。蒴果は垂れ下り、倒卵球形で長さ12-20mm、通常4室で4鈍稜があり、晩秋黄熟しはほぼ平滑、種子は橙色の仮種皮に包まれている。和名は初め肥前国(諫早)で見出されたので名付けられた。

しいもち

*Ilex Buergeri Miq.*

本州西部(周防)及び九州に稀に分布する常緑小喬木。枝は直線的で分枝は斜上し、若枝には鈍稜角があり、葉柄と共に短毛を帯び、紫色を帯びる。葉は側枝に互生し、擬2列生でその様はシイの小枝を彷彿させる。葉は披針形乃至狭卵形、先端は漸鋭尖又は急に短く尾状に鋭尖し、且鈍端、基部は広楔形又は円脚、長さ3-5cm、縁辺に疎に低鈍歯があり、上面は中肋凹入して微毛があり、下面は突出し、側脈は不明瞭、やや灰色を呈する。4月頃葉腋に数花を密簇して開く。雌雄異株で、雌株の花は少く1葉腋に1-3花のみ。小苞を伴い、萼片は4個、長さ1mm、3角状卵形で、花梗と共に紫色を呈し、花弁は4個黄緑色、狭倒卵形円頭、長さ6mm許、平開し、雄蕊も亦4個花弁より長く、1雌蕊がある。果実は球形、径4mm許ある。

ひらぎもち

一名 せいようひいらぎ

*Ilex Aquifolium L.*

歐洲南部及び中央部、アジア西部原産の常緑樹で高さ10m内外に達する。時にその果実を観賞するために人家の庭に栽植される。枝は弧がつて、円い樹冠をなし、時に灌木状をなすことがある。全株無毛で、葉は互生し、短柄を有し、卵形又は長楕円形、鋭頭、楔脚、革質で上面に強光沢があり、深緑色、縁辺に刺状の鋭鋸歯がある。5-6月頃前年の葉腋から短い花序を出して数花乃至10数花を密簇して開く。花は短梗を有し、径6mm許、淡黄色、萼片4個は広卵形、小形、花弁又4個倒卵形、これに互生して雄蕊4個があり、花弁より短い。雄花は雌蕊が退化し、雌花は卵形の子房、甚だ短い花柱及び小円盤状の柱頭を有する。果実は球形、赤色で表面の光沢が強い。英名は English Holly、歐洲でクリスマス装飾に用いる。

第 3458 図



こしあか科

第 3459 図



もちのき科

第 3460 図



もちのき科